

デザインワークショップ2025

生成AIによって学生生活はどう変わる？未来の学びとは？

佐藤 佑哉、小林 潤之介

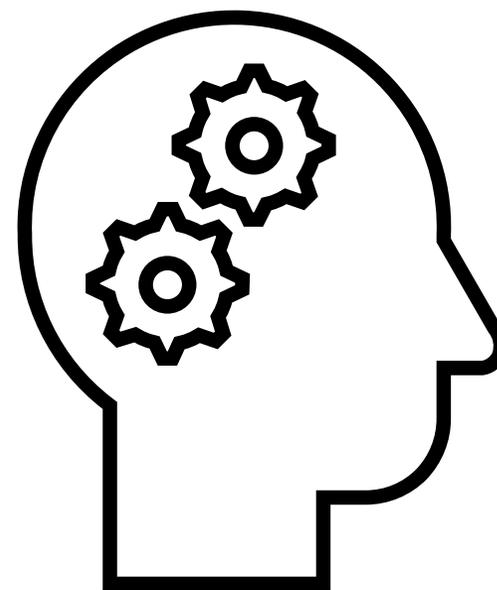
学生が大学生活(学業、生活問わず)において
直面する課題に対し、

生成AIはどのようなことが得意で、
逆に何が不得意なのか

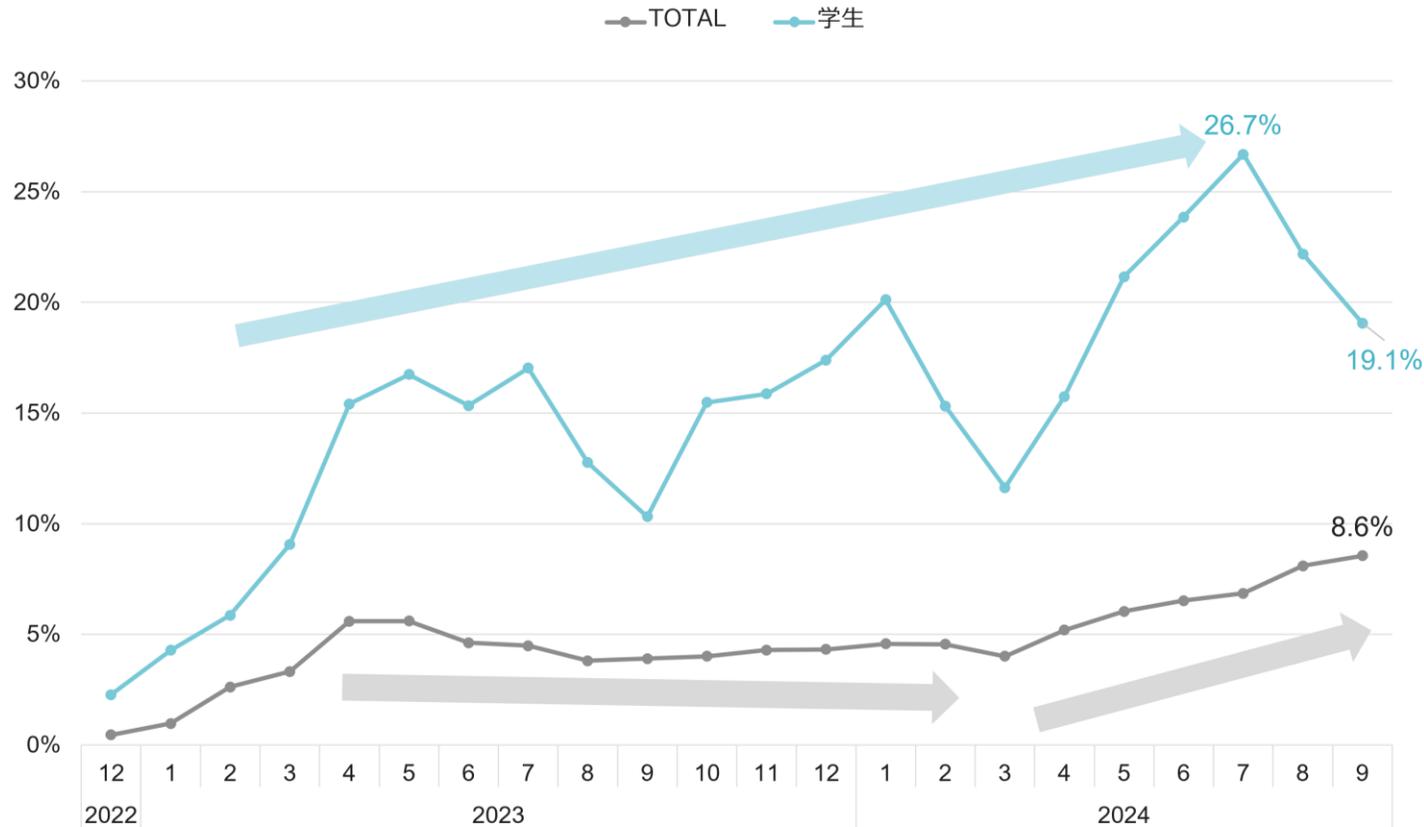
を検討し、

新たな利用方法の提案や

AIではなく 学生自身で取り組むべき部分
についてのアイデアを共創する。



生成AI利用率の推移



データソース：インテージ-SSP PCブラウザ利用ログ集計
集計期間：2022年12月-2024年9月
※月1回以上【OpenAI.ChatGPT】【Microsoft.Copilot】
【Google.gemini】URLにアクセスしたものを利用者と定義

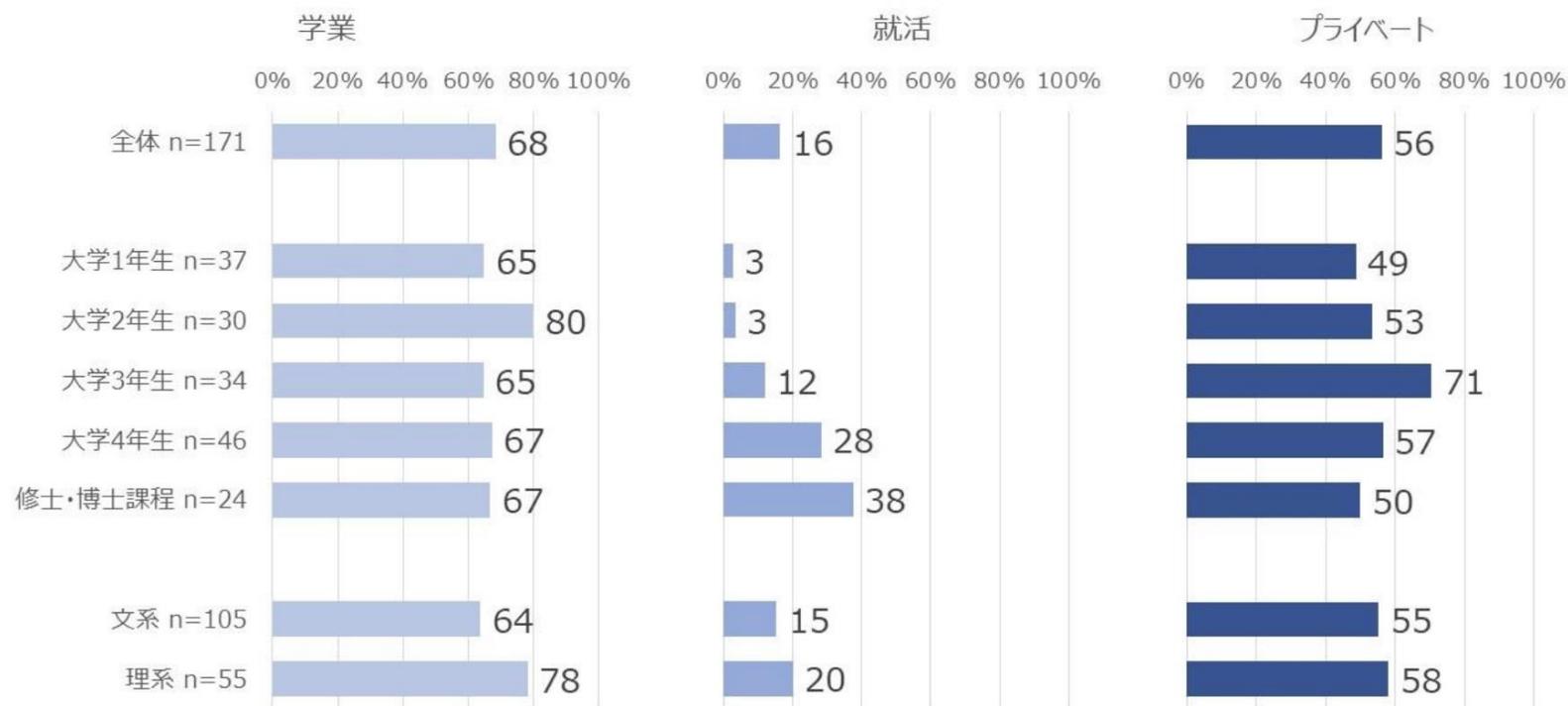
2022年11月のChatGPT登場時から全体的に増加傾向。
学生は全体に比べ利用率が**高い**傾向にある。

長期休暇期間に含まれる1~3月、7~9月では利用率が減少する傾向にある。



学生生活において生成AIの利用は日常化してきている

大学生(大学院生)の生成AIの活用シーン



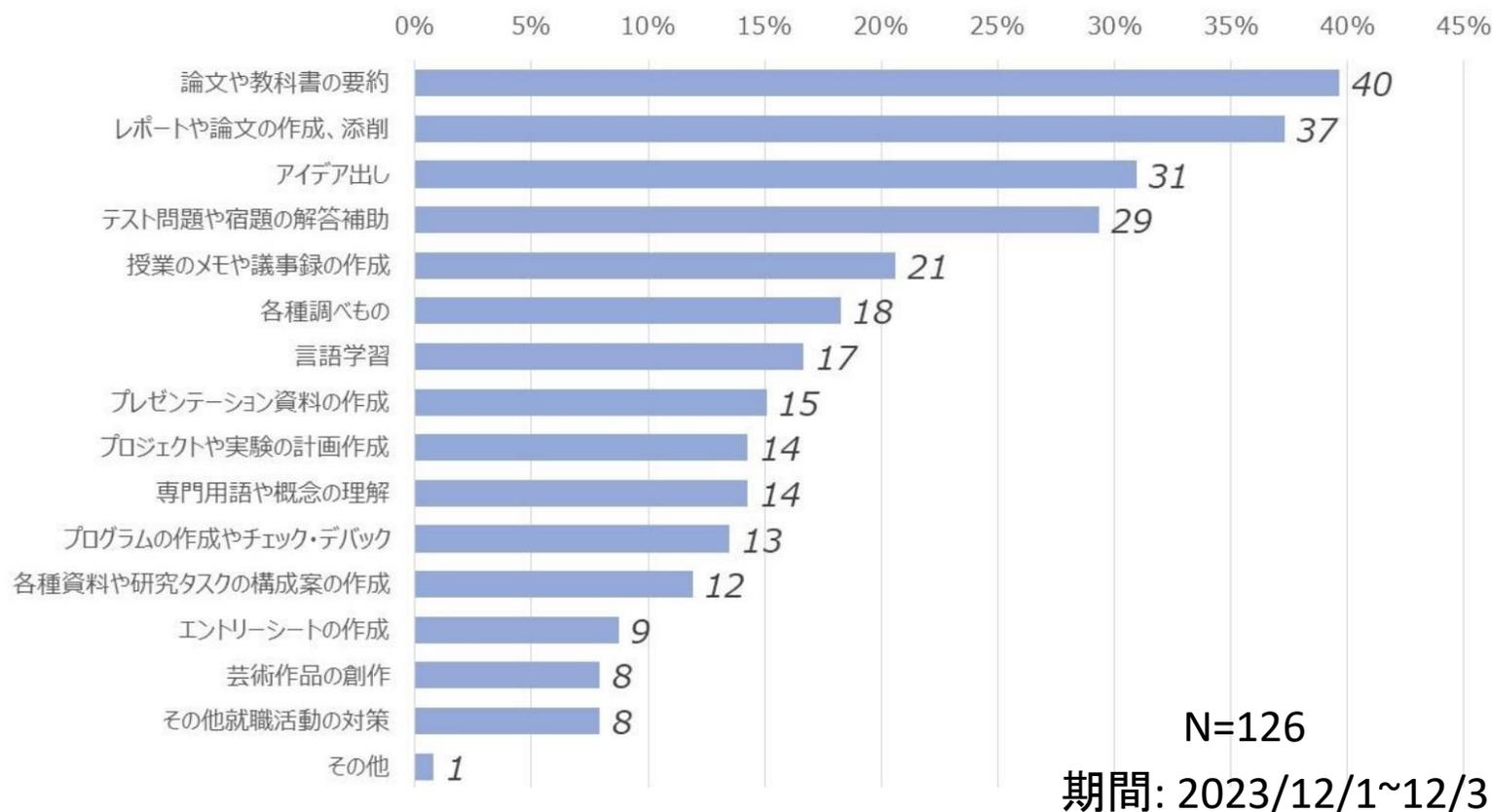
学業での利用が最も多く、
理系の方が文系に比べ全ての
シーンにおいて利用率が高い



期間: 2023/12/1~12/3

引用元:一般社団法人データエンティスト協会

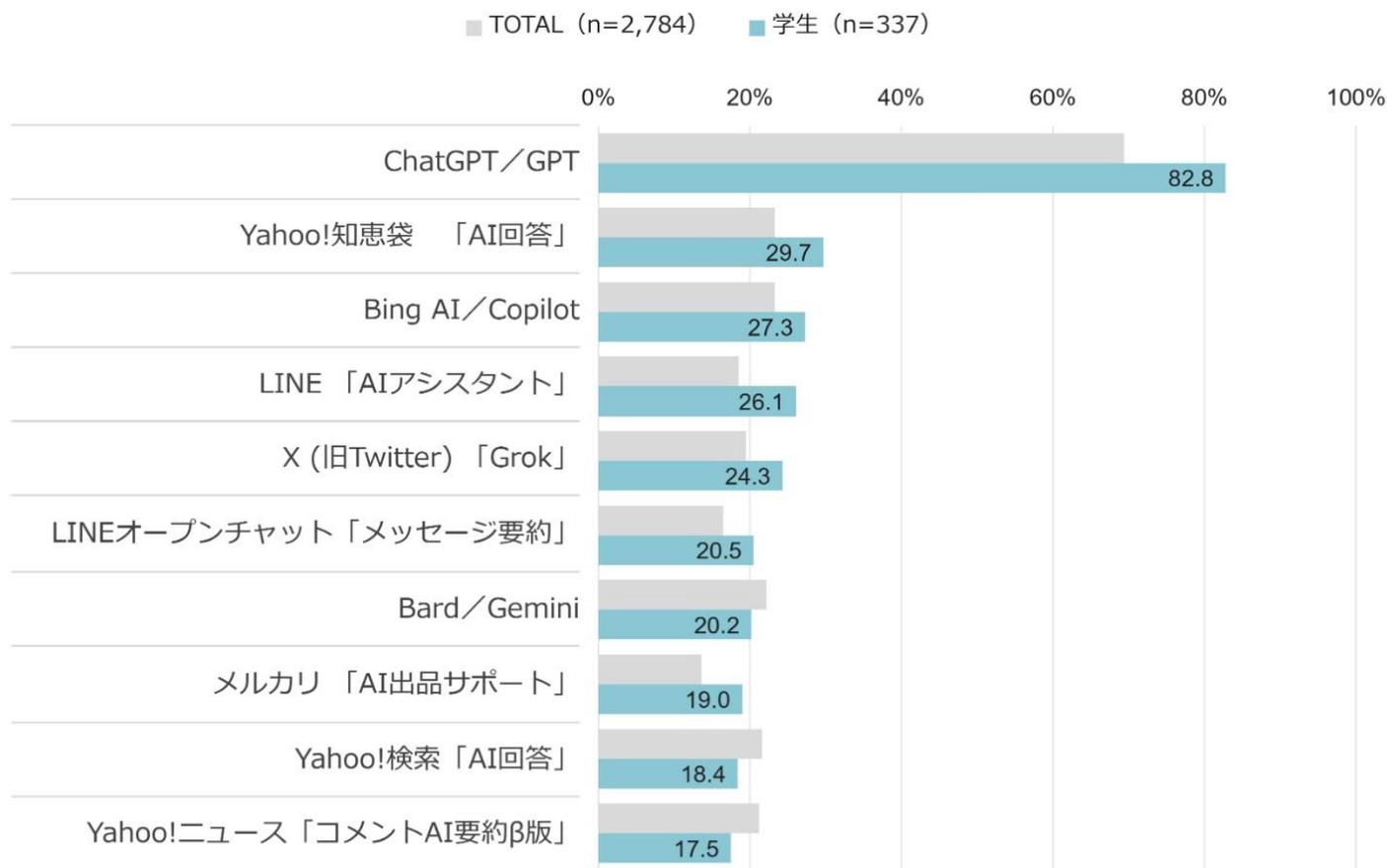
大学生(大学院生)の生成AIの活用シーン(詳細)



活用シーン上位は
「論文や教科書の要約」
「レポートや論文の
作成、添削」

引用元:一般社団法人データイエンティスト協会

サービス別認知率



ChatGPTの認知率が群を抜いて大きい。
YahooやLINE、X、メルカリ等知名度の高い
サービスに付属するAI機能の認知度も
高くなっており、今後も様々な機能に特化
した新しいAIサービスの普及が見込まれる

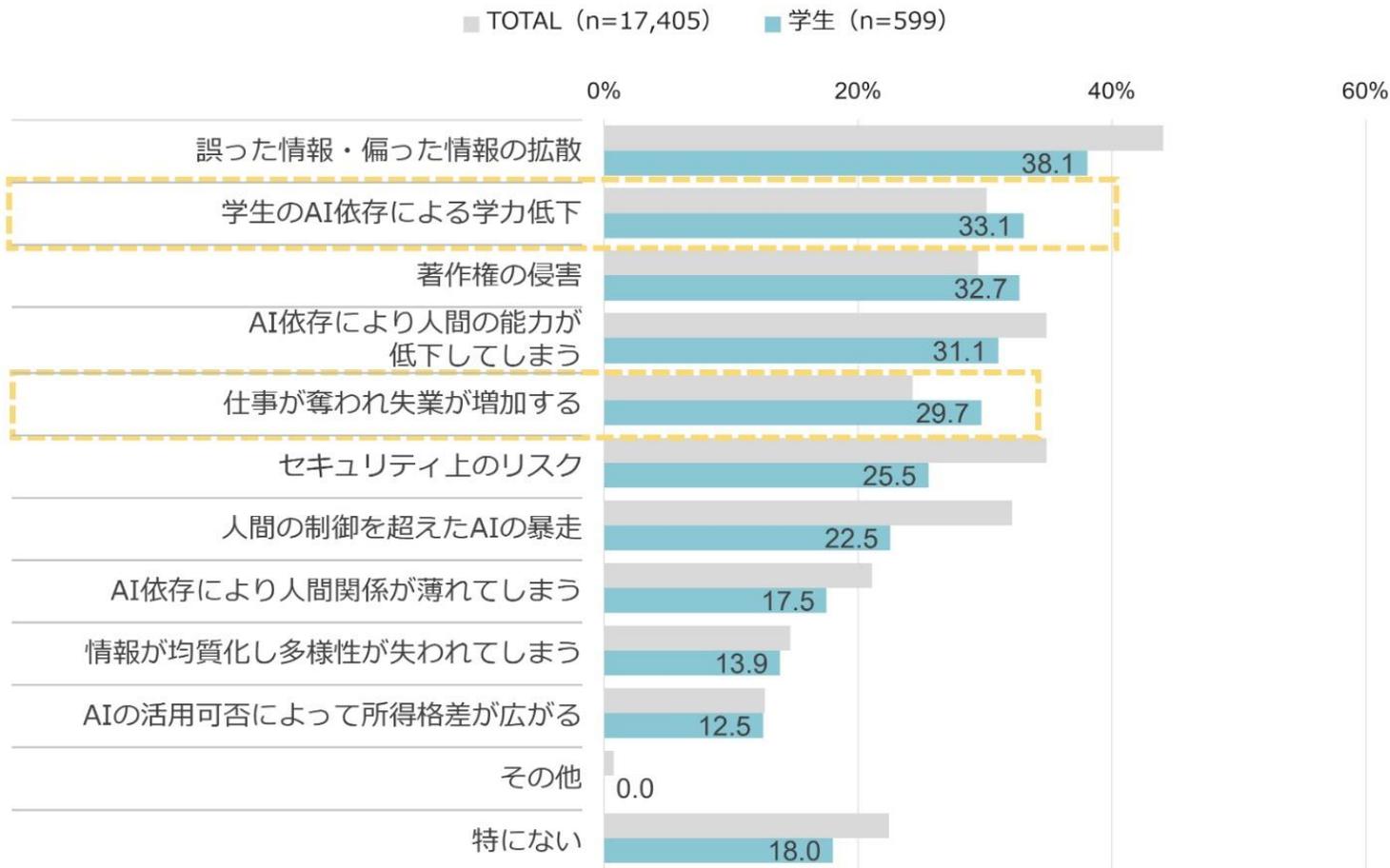


目的に合わせたAIサービスの選択、
正しくAIを活用するスキルが求められる

引用元:知るギャラリー by Intage inc.

期間:2024/10/28~2024/10/31

生成AI利活用に対する懸念点



全体と比較し学生の方が懸念していることは..



「学生のAI依存による学力低下」
「仕事が奪われ失業が増加する」

引用元:知るギャラリー by Intage inc.

期間:2024/10/28~2024/10/31

大学生、既卒者が抱える悩み

現在どのような悩みを抱えていますか？

大卒者は、大学生の頃どのような悩みを抱えていましたか？ ※複数回答可

Z世代 18歳～22歳の現役大学生 (N=208)		ミレニアル世代 28歳～32歳の大卒者 (N=191)	
1位	お金 (60.1%)	1位	友人関係 (50.8%)
2位	勉強 (43.3%)	2位	お金
3位	友人関係 (41.8%)	3位	就活活動 (48.2%) ※同率
4位	恋愛 (38.5%)	4位	恋愛 (45.0%)
5位	容姿 (33.2%)	5位	勉強 (38.7%)
6位	就職活動 (31.3%)	6位	容姿 (22.5%)
7位	他人とのコミュニケーション不足 (23.6%)	7位	他人とのコミュニケーション不足 (19.9%)
8位	健康 (22.1%)	8位	仕事 (19.4%)
9位	アルバイト (20.2%)	9位	家族 (18.8%)
10位	仕事 (17.3%)	10位	アルバイト (15.7%)

※悩みはない(なかった)人は除く

お金や友人関係など、**学業面以外での悩み**も大きい



本ワークショップで考えたい、議論したいこと
生成AIを用いてどのようにこれらの悩み、課題にアプローチできるのか？
また、AIではなく学生自身で取り組むべき部分は何処なのか？

引用元:PRTIMES「Z世代とミレニアル世代の大学時代の価値観に関する調査」
期間:2022/9/8~2022/9/11